

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書) 図解理学療法検査・測定 ガイド第2版	共 著	平成21年11月	文光堂	社会情報の集め方―住環境― について訪問時の注意点等を中心に論説し、新しい情報を追加した
2	(学術論文) ボランティア活動における自己評価と他者評価の比較	筆 頭	平成20年3月	第 21 回中国ブロック理学療法士学会 学会誌 P177~178	1 年次ボランティアに対する自己評価と他者評価（指導者評価）の違いをアンケートの回答より調査。その結果自己評価と他者評価の間に有意に相関するものは無かったがコミュニケーションの重要性が示唆された。
3	中高齢者の肘関節痛の発生機序となる筋機能の力学的因子の解明を予防と進行防止に導く運動療法の開発	共 同		Research papers of The Suzuken Memorial Foundation Vol.26 P79~87	膝 OA 患者と健常者群の歩行分析をVicon と筋電図分析により解析した。大殿筋、中殿筋、内側広筋、外側広筋の筋活動より 膝 OA 患者は健常者と比較して外部膝関節内反モーメントが有意に高かった。このことから股関節伸展筋の量的機能と質的機能ともに改善するエクササイズが有効である可能性が示唆された。
4	臨床実習に「ポートフォリオシート」の導入を試みて	筆 頭	平成22年10月	理学療法学教育 Vol.1 P34~40	「ポートフォリオシート」を臨床実習に取り入れた経過および学生からの評価を交えてポートフォリオの効果を検証した その結果 学生からの受け入れは必ずしも満足のいくものではなかったが準備ポートフォリオシートや成長シートは好評であった。
5	立ち上がり動作の内部股関節伸展モーメント産出に影響する筋機能の加齢変化	共 同	平成25年4月	理学療法科学 Vol.28(4) P463~468	椅子からの立ち上がり動作における加齢変化の影響を若年者 16 名、高齢者 16 名で 3 次元動作解析装置と表面筋電図を用いて比較した。その結果、膝関節活動が主体であった高齢者は、最大股関節進展モーメントよりも最大膝関節伸展モーメントの方が大きく、大殿筋下部線維、中殿筋の筋活動は有意に高値を示した。
6	(研究発表) The effect due to the difference in height position of the joint of the anterior cruciate ligament injuries therapeutic knee orthosis	共 同	平成 27 年 6 月	ISPO WORLD CONGRESS 2015 Lyon, France	膝装具の膝継手軸の高さの違いが、歩行時のカフ及ぼす影響を調査した。その結果、膝継手軸が膝の上方への移動により下腿カフ（前面）への圧は上昇した。